

地域おこし協力隊・関根麻里さん 3年間の軌跡

卒業報告会



愛媛
CATV
動画

令和3年2月1日、町の地域おこし協力隊に着任した関根麻里さん。

東京で生まれ育った関根さんは、東日本大震災のボランティア活動を通して、地域に根ざした活動に興味を持つようになり、商工観光課の地域おこし協力隊として町の食の魅力を広げ、伝える活動を行ってきました。

地域おこし協力隊の卒業を目前にした1月24日(水)と29日(月)、住民の皆さんや他市町の地域おこし協力隊、役場関係者などに向けて、3年間の活動を紹介する報告会を開催しました。

愛南の食文化を知り、広げる——その多彩な活動の一部をご紹介します。



特産品を使ったカレーの販売!キッチンカーも!

「この町の一番の魅力は食だと感じます。町外の人にはもちろんですが、町内の人にも改めてその魅力に気付くきっかけを持ってほしい」と言う関根さんは、町の特産品を使ったカレーを開発しました。猪肉などのジビエや養殖マダイ、ブロッコリーなど、できるだけ地元の食材を使うことにこだわった、スパイシーで本格的なカレーです。

キッチンカーを使用して町内で販売して回ったり、東京のイベントではみきゃんのキッチンカーに乗って販売したこともあり、「町内の方にとっては珍しいという印象も強かったのか、たくさんの人に食べていただきました」と関根さんは語りました。



新しい切り口から町の魅力を発信!

町内のバーやスナックを紹介した『YOASOBIマップ』の作成や、平城貝塚から出土した土器の形を模したクッキーをイベントで配布するなど、これまでにない形での魅力発信にも取り組みました。

前例のない取り組みが多い中、さまざまな方の協力を得つつ、チャレンジを続けてきました。



地域に、人に飛び込んで幅広く活動

愛南の風土と人々を知ること大事にしている関根さんは、人とのつながりもとても大切にしています。婦人会など、地域で活動している団体の輪にも飛び込み、一緒にイベントで活動することも多かったと言います。

また、町の磯釣り大会でリポーター役を務めるなど、今まで経験したことのない仕事にも積極的に取り組み、どんどん地域の輪の中に溶け込んでいきました。



卒業報告会in平城公民館

1月24日(水)に平城公民館で開催された報告会 ※29日(月)には役場本庁で役場職員向けの報告会も実施されました。



▲総勢45人が参加した報告会の後は、関根さんが腕によりをかけたジビエカレー&シーフードカレーと平城貝塚土器型のクッキーが提供されました。

関根さんの今後の活動について

地域おこし協力隊としては1月末をもって任期を終えた関根さんですが、今後も愛南町に定住したいと語ります。

「飲食店を開くという夢は一度軌道修正して、町の風土を知り、食を知り、つなげていく“風土(フード)コーディネーター”として、これからも町の魅力を広げていく活動ができればと考えています」と笑顔で未来を語る関根さんに、報告会に集まった参加者は大きな拍手を送りました。



▲報告会に集まった町内外の地域おこし協力隊の皆さん

愛南の皆さま、3年間ありがとうございました！
そして、これからもよろしくお願いします。by 関根麻里